

鳴門教育大学（9） 発問・学習課題作りにつなげる国語科教材研究

1 目的

文学教材、説明的文章教材などの教材分析の観点を知り、実際に教材分析を行うとともに、分析内容をもとにして発問や学習課題を構想することを通して、教材研究力と授業実践力の向上を図る。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目Ⅴ－推進項目15－③教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

○授業力・学習指導「B 授業構想力」「C 授業実践力」「D 授業省察力・改善

力」

2 主催

鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和8年7月31日（金）

4 会場

鳴門教育大学 地域共創棟 1階 多目的教室

5 対象者

- (1) 職種 教職員
- (2) 校種 小・中・高・中等・特
- (3) 定員 20名

6 内容

- (1) 国語科教材研究の観点と方法
- (2) 文学教材の教材研究の実際
- (3) 説明的文章教材の教材研究の実際

7 講師

鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 国語科教育コース 教授 幾田 伸司

8 日程

9：30～9：50 受付（地域共創棟 1階 多目的教室）

9：50～10：00 開会、イントロダクション

10：00～11：00 講義「国語科教材研究の目的と観点」
内容 国語科教材研究の目的と観点について、講義を行う。

11：00～12：00 演習「詩の教材研究」
内容 詩教材を対象とする教材研究を実際に行い、多様な解釈を

想定するための教材研究の方法を検討する。

12：00～13：00 昼食

13：00～14：20 演習「物語の教材研究」
内容 物語教材について、読みの深まりと多様性を想定するため

の教材研究の観点を踏まえて教材分析を行い、発問・学習課題を考える。

14：30～15：50 演習「説明的文章の教材研究」
内容 説明的文章教材について、論理構成や述べ方の工夫に着目

した教材研究の方法を検討し、発問・学習課題を考える。

15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物

筆記用具

10 その他

(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届（PDF形式）をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和8年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

送付先

【送付先】〔教諭、栄養教諭、学校栄養職員〕

総合教育センター教職員研修課
kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

※県立学校は、学習系端末（外部メール）から提出してください。

〔養護教諭〕

体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）

(2) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(3) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(4) 研修にふさわしい服装で参加してください。

(5) 昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。大学食堂も御利用いただけます。

(6) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 新久保 諭 088-672-6419

部外秘